

PIERIA ファッションイタリア語文法講座 レベル2 第5課

5.1. 代名小詞 ci(vi), ne の機能と形態

5.1. ci (vi)の機能 ⇒ 原則として「a+アルファ」を受ける

1) 「～へ」と方向性を表す前置詞句を受ける。

Vai alla stazione? **Ci** vado anch'io.

(君は駅へ行くの? 僕も行きます)

* 「a+アルファ」のみならず、「～へ」を表すその他の前置詞句でも、同じように ci を使うことができます。

Va in Italia? **Ci** andiamo anche noi.

(イタリアに行くんですか、私たちもそこに行くんです)

Vai dal dentista? . – No, non ci vado.

(君は歯医者へ行くの?) (いや、行かないよ)

2) a で始まる前置詞句を受ける。

この用法では、動詞や形容詞が前置詞 a を要求するということを知っておかなくてはなりません。

Maria apre una bottega a Tokyo. - Non ci credo!

(マリアが東京にブティックを開くんですって) (信じられません!)

* この文の場合、ベースとして credere a ... (～を信じる) があります。

Lui riesce a distinguere le differenze di questi due materiali, ma io non ci riesco.

(彼はこのふたつの素材の違いが分かるが、私にはわからない)

* この文の場合、ベースとして、riuscire a ... (～に成功する) があります。ci はこの文では a distinguere 以下を受けているわけです。

ci と vi は同義ですが、vi が用いられるのは、書き言葉や ci が2回続くとき、語調が悪いときなどです。

(略)

練習問題 (5)

I 次のイタリア語文を日本語に訳すこと。

- 1) Questa signorina ha venduto finora otto paia di scarpe.
- 2) A Emanuele piace la moda e ne parla sempre.

(略)

II 次の日本語をイタリア語に訳しなさい。

- 1) 君は水着(costume da bagno)を買わないつもり(volere)なの？
— ええ。私はすでに4着持っています。(neを使って)
- 2) 君はプラートへ行ったことがあるかい？
— ええ、3ヶ月前に織布工場を1社訪問しに行きました。

(略)

【コラム6：繊維産業の盛んな州】

個性豊かなイタリアの20州から、繊維産業の盛んな州をご紹介します。



Pemonte：ピエモンテ州

州の北部、トレンティーノ=アルト・アデージェ州との境には、イタリア有数のウール産業地区、ピエツラがあります。主に梳毛の産地で、高級服地や細番手のニット用梳毛の生産が中心です。紡糸、織物、染色加工と一貫して行う工場が多いのが特徴です。

(略)